

令和8年度全国学力・学習状況調査結果

令和8年10月26日
長浜市教育委員会

調査実施日:令和8年4月23日(木)

1 調査の目的

- ・ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・ 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

- ・ 小学校調査 市内公立小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年 973人
- ・ 中学校調査 市内公立中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年 1,049人

3 調査内容

ア 教科に関する調査

- 小学校調査・・・国語、算数 各45分
- 中学校調査・・・国語、数学、英語 各50分

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※上記①と②を一体的に問うこととする。

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、基本的な生活習慣等、家庭学習の状況など	・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

長浜市の教科に関する調査結果

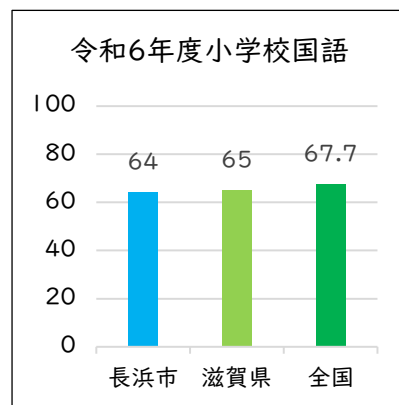
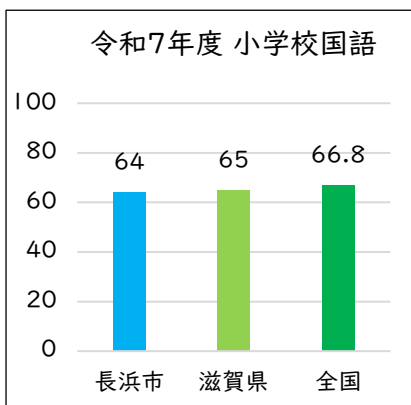
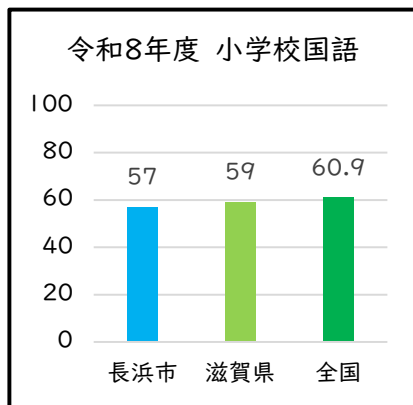
I 平均正答率(%)

※文部科学省がまとめた調査結果をもとに作成しています。

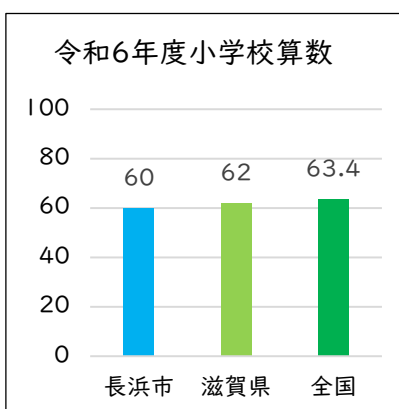
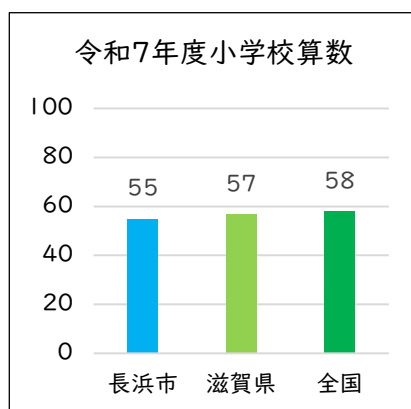
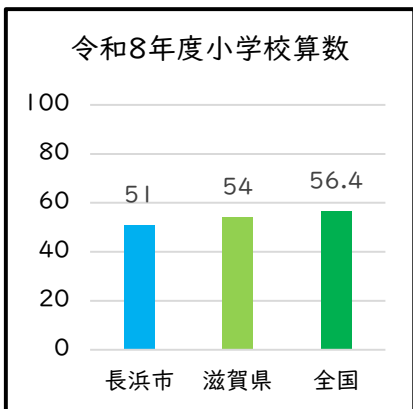
【小学校調査】

※滋賀県・長浜市の平均正答率は、整数値の公表となっています。

国語

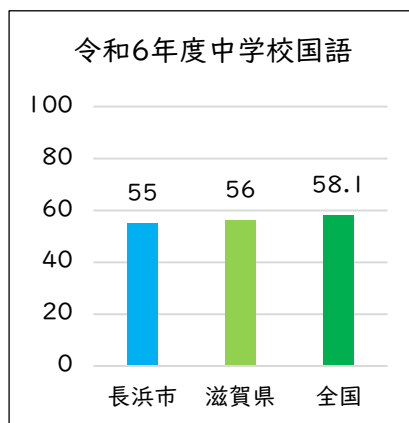
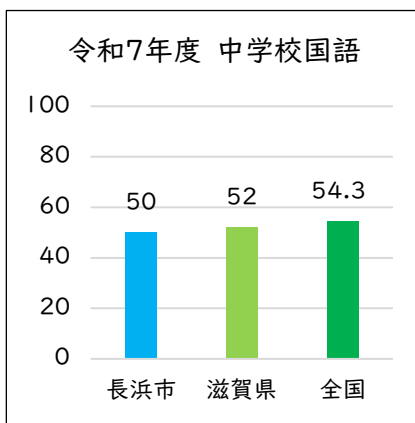
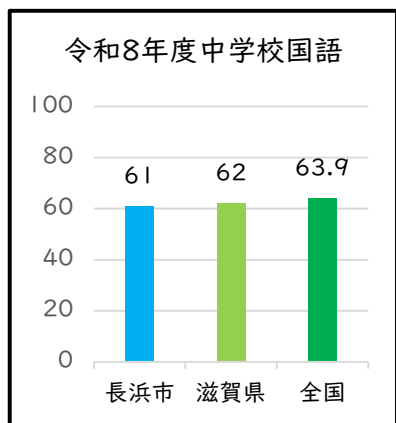


算数

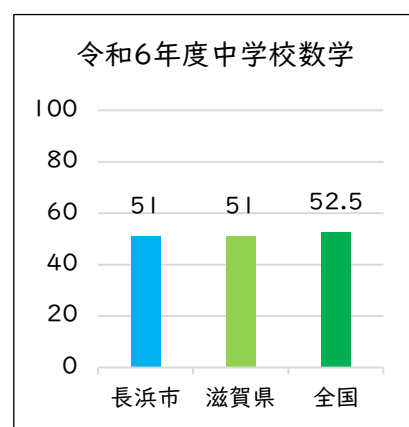
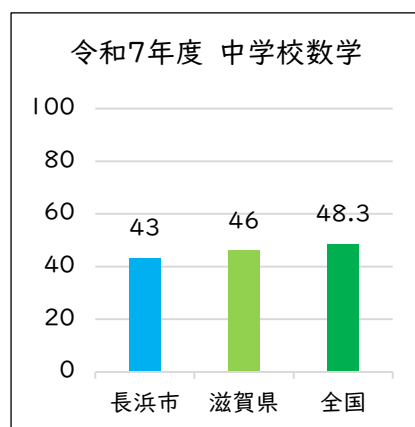
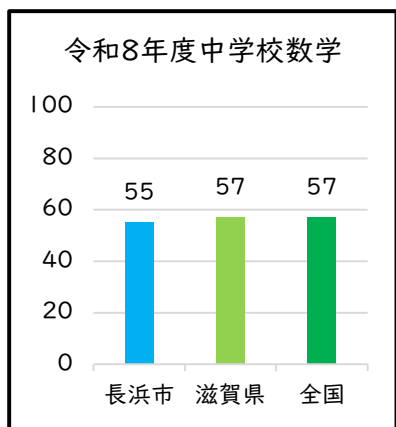


【中学校調査】

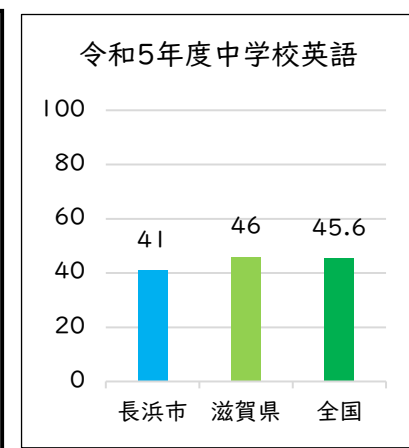
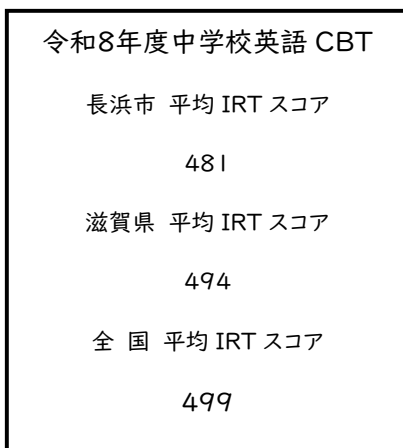
国語



数学



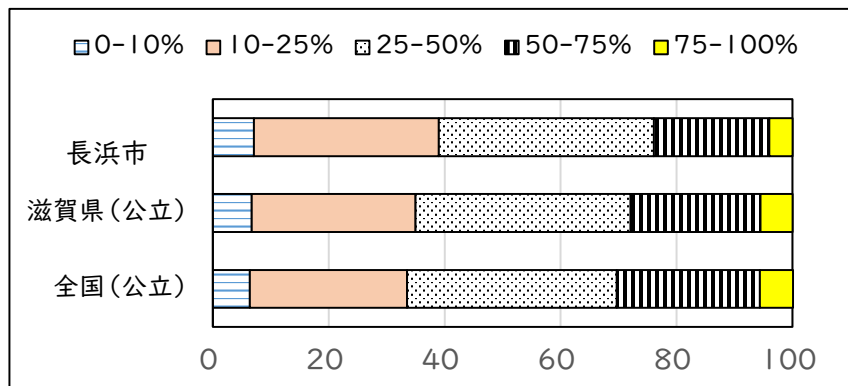
英語



令和8年度は、英語4技能すべてがCBTで実施されました。国際的な学力調査で用いられる「IRT」と呼ばれる統計的に到達度を測定する「項目反応理論」を使ったスコアで示されています。

※CBT コンピュータを使って実施される試験方式

IRT バンド分布比較(英語)



IRT バンド集計値

IRT バンド	割合(%)		
	長浜市	滋賀県 (公立)	全国 (公立)
5	4.1	5.5	5.7
4	19.9	22.4	24.7
3	37.1	37.1	36.2
2	31.9	28.3	27.1
1	7.1	6.7	6.4

2 結果の概要

全国学力・学習状況調査の目的は、学習指導の充実や改善を図ることです。市としても結果から課題を焦点化し、学校全体での実践につなげることが大切だと考えています。

小学校の平均正答率は、国語・算数ともに昨年度よりも全国との差が大きくなっています。中学校の平均正答率は、国語・数学ともに昨年度と比較して、全国との差が小さくなっています。英語に関しては、IRT のため前回との比較はできませんが、今年度の結果は全国平均 IRT スコアには到っていません。中学校英語 IRT バンド分布比較から、長浜市は「0%－25%」の層が全国平均よりも多く、下位層の割合が高いことが分かります。生徒間の英語力には差が見られ、苦手意識や困り感を抱える生徒へのきめ細かな支援が求められます。

こうした結果を踏まえ、子どもたちの学びをより深めていくため、教科ごとの課題を整理し、個別最適な学びの実現に向け、一人ひとりの学習状況に応じた指導改善と支援を進めます。

児童・生徒質問紙の回答結果（主に長浜市と全国の比較）です。

- ・(13)「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の小学校の結果は、全国平均を上回りました。中学校でも同様の結果がでています。安心して学校で過ごせる環境は、子どもたちが挑戦できる土台となり、学びを支えます。
- ・(23)「学校の授業時間以外の勉強時間」の結果から、小学校・中学校ともに勉強時間が少ないことが課題です。自己学習などに取り組む習慣と学力に相関がある点でも、家庭学習の充実を図る指導や支援が必要です。
- ・(29)蔵書数について、0冊から10冊という結果が、小学校・中学校ともに全国よりも多いことがわかりました。読書は各教科の言語活動を支える基盤です。本を身近に感じ、読書が好きになる取組が必要です。
- ・(35)「授業でICT機器をどの程度使用したか」、(36-1)「ICT機器で文書を作成できるか」の結果は、いずれも小学校・中学校ともに全国を大きく上回り、ICT活用の定着とともに、ICT活用能力が着実に向上していることが評価できます。さらに中学校では(36-3)「ICT機器を使って情報を整理することができる」も全国を大きく上回っています。
- ・(42)「学級の生徒との間で話し合う活動」に関する質問は中学校で全国比-1.3%ですが、昨年と比べると差は小さくなっています。(小学校は昨年より差が大きくなっています。)今後も対話的な学習活動の充実を図る必要があります。
- ・(44)「授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いませんか。」の結果は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っています。主体的に学習を調整できる子どもは、自ら課題を見つけ、学びを深めることができます。この学びに向かう力は、長浜市の目指す子どもたちの未来につながる「真の学力」でもあります。

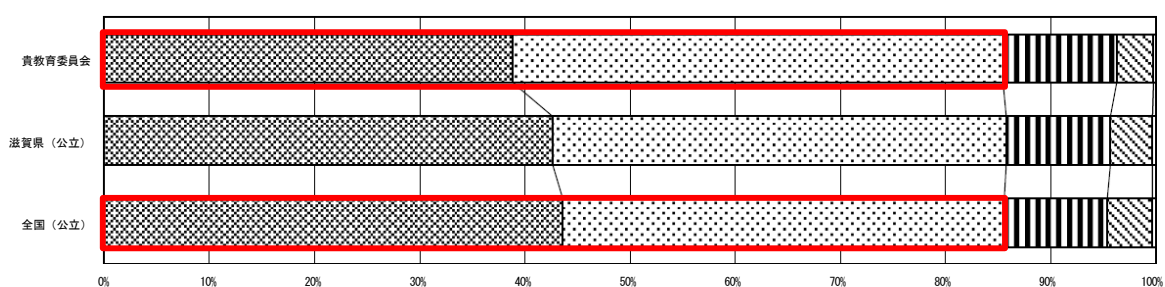
調査結果を今後の教育実践や授業改善に活かしていけるよう努めます。

児童質問紙 小学校 73項目

質問番号	質問事項											
(8)  全国とほぼ同率	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	38.8	46.6	10.8	3.5							0.0	0.2
滋賀県（公立）	42.6	43.1	9.9	4.0							0.0	0.3
全国（公立）	43.6	42.0	9.8	4.3							0.0	0.3

R8 長浜市 85.4% 全国 85.6% -0.2%
R7 長浜市 86.3% 全国 86.9% -0.6%

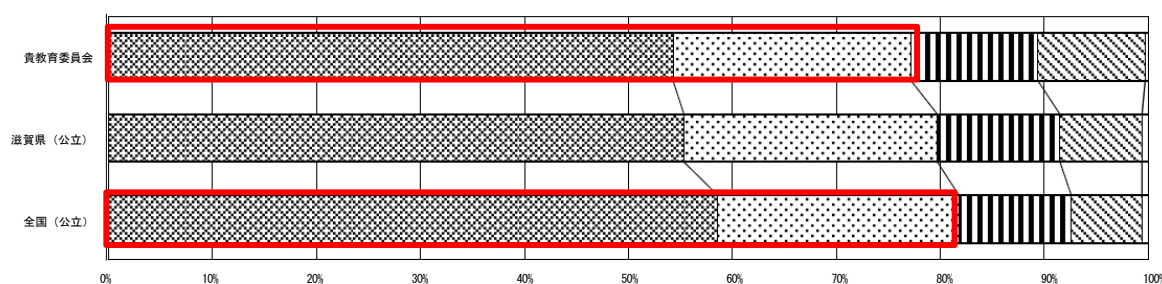
☐ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(10)  昨年度より差は大	将来の夢や目標を持っていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	54.3	22.9	12.2	10.3							0.0	0.3
滋賀県（公立）	55.4	24.4	11.8	7.9							0.0	0.6
全国（公立）	58.6	23.2	10.8	6.8							0.0	0.6

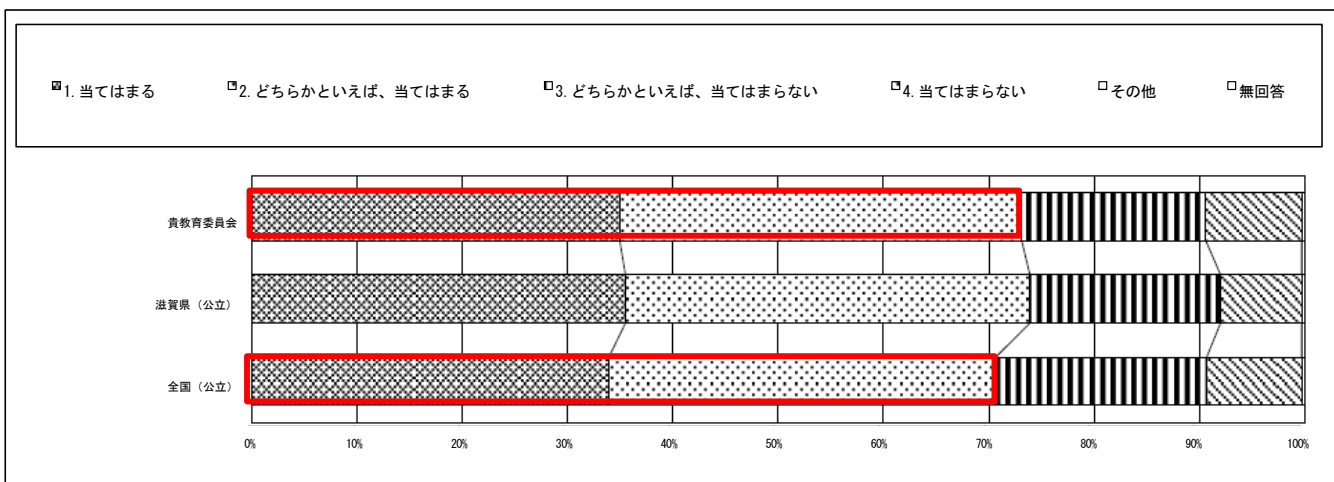
R8 長浜市 77.2% 全国 81.8% -4.6%
R7 長浜市 80.9% 全国 83.1% -2.2%

☐ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



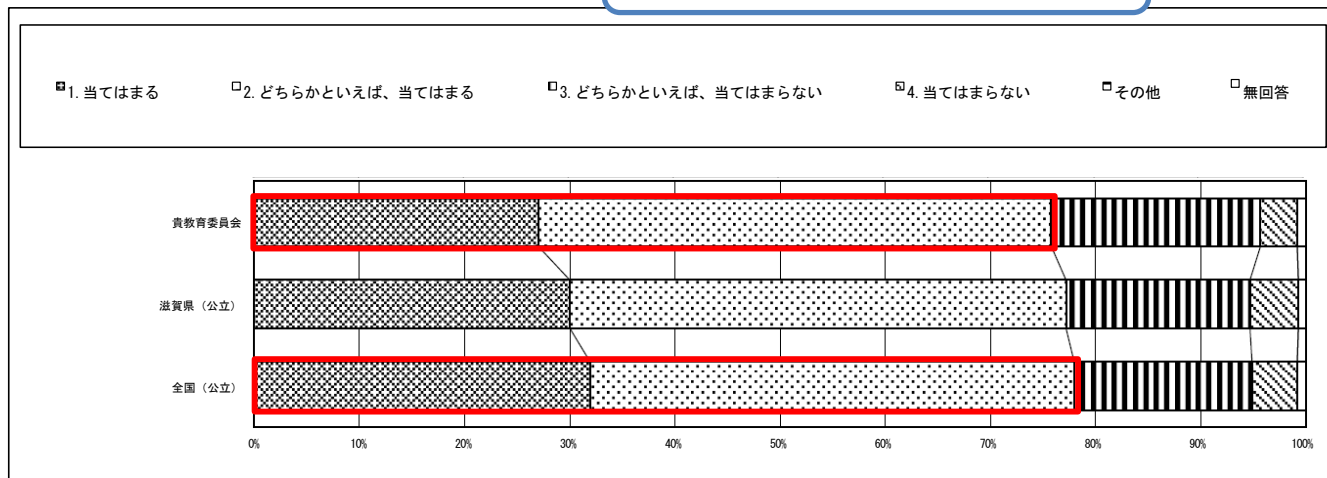
質問番号	質問事項											
(13)  良好	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	35.0	38.2	17.5	9.1							0.0	0.3
滋賀県（公立）	35.5	38.4	18.1	7.7							0.0	0.3
全国（公立）	33.9	36.7	20.0	9.0							0.0	0.3

R8 長浜市 73.2% 全国 70.6% +2.6%
R7 長浜市 75.1% 全国 70.6% +4.5%



質問番号	質問事項											
(16)  全国比率との差大	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	27.0	48.8	19.9	3.5							0.0	0.8
滋賀県（公立）	30.0	47.2	17.5	4.6							0.0	0.7
全国（公立）	31.9	46.0	16.9	4.3							0.0	0.8

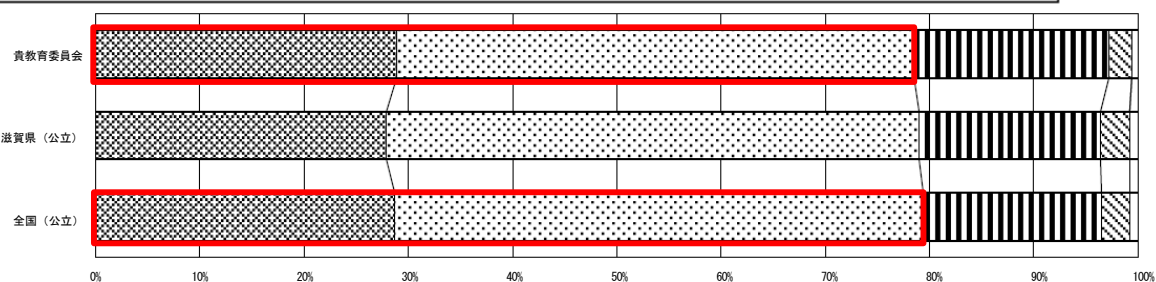
R8 長浜市 75.8% 全国 77.9% -2.1%
R7 長浜市 80.4% 全国 78.1% +2.3%



質問番号	質問事項											
(22)	分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	28.9	49.7	18.7	2.2							0.0	0.6
滋賀県（公立）	27.9	51.1	17.4	2.8							0.0	0.8
全国（公立）	28.7	50.7	17.1	2.7							0.0	0.8

R8 長浜市 78.6% 全国 79.4% -0.8%
R7 長浜市 82.6% 全国 81.7% +0.9%

□1. できている □2. どちらかといえば、できている □3. どちらかといえば、できていない □4. できていない □5. その他 □無回答

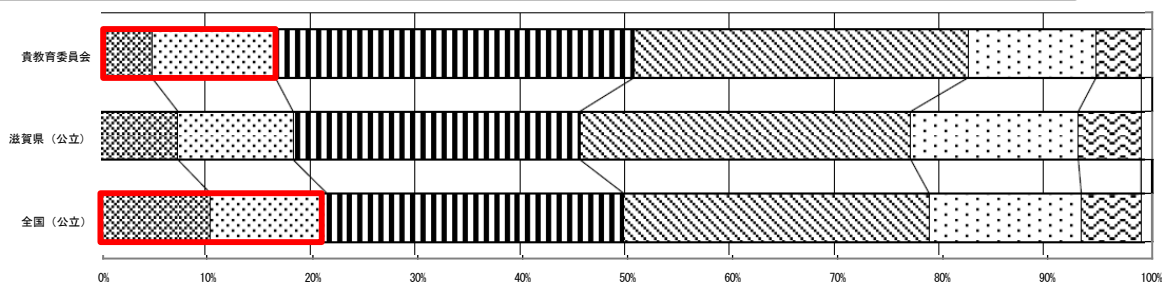


質問番号	質問事項											
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	4.9	11.8	34.3	31.9	12.2	4.3					0.0	0.7
滋賀県（公立）	7.4	11.0	27.4	31.6	16.0	6.0					0.0	0.7
全国（公立）	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7					0.0	0.7

(2時間以上)

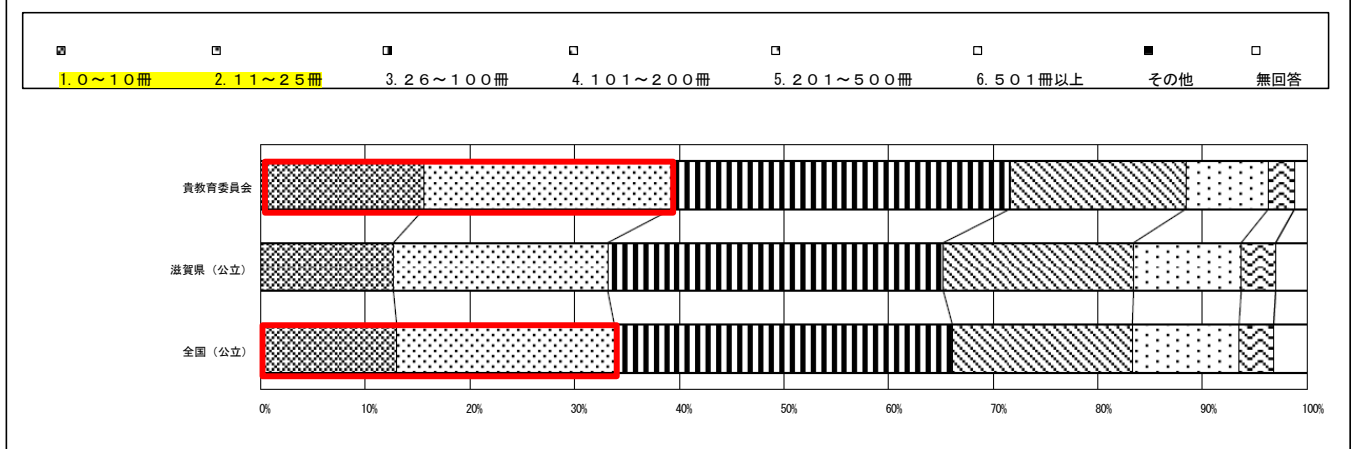
R8 長浜市 16.7% 全国 21.6% -4.9%
R7 長浜市 17.4% 全国 24.9% -7.5%

□1. 3時間以上 □2. 2時間以上、3時間より少ない □3. 1時間以上、2時間より少ない □4. 30分以上、1時間より少ない
□5. 30分より少ない □6. 全くしない □その他 □無回答



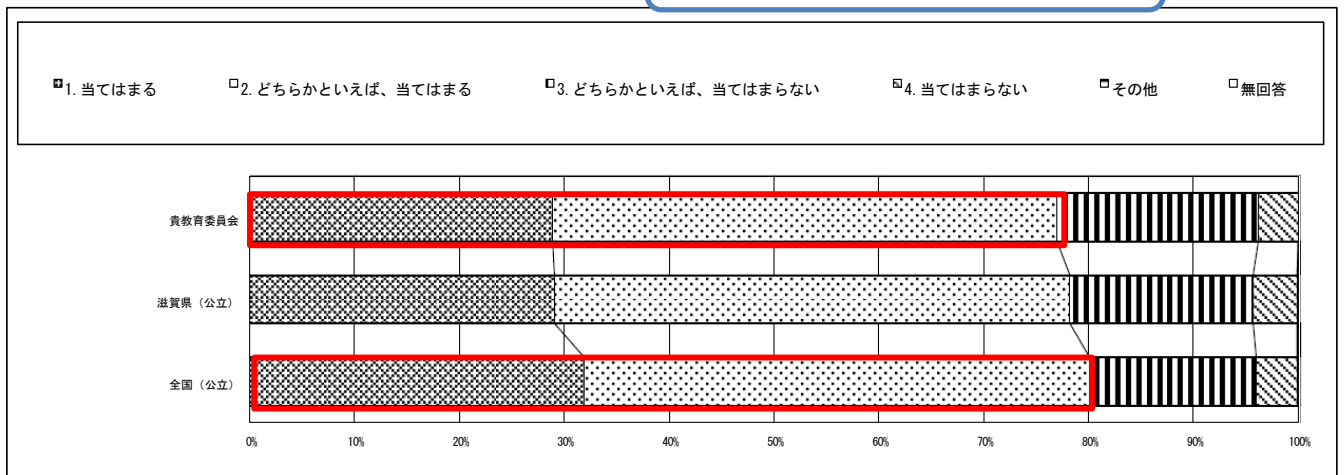
質問番号	質問事項											
(29)  昨年度より 全国比率と の差小	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	15.6	23.7	32.3	16.8	7.9	2.5					0.0	1.2
滋賀県（公立）	12.7	20.5	32.1	18.2	10.3	3.3					0.0	3.0
全国（公立）	13.0	20.8	32.3	17.2	10.2	3.3					0.0	3.2

(25冊以下)
R8 長浜市 39.3% 全国 33.8% 5.5%
R7 長浜市 45.3% 全国 36.8% 8.5%



質問番号	質問事項											
(33)  全国比率 との差大	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	28.9	48.1	19.2	3.8							0.0	0.0
滋賀県（公立）	29.1	49.2	17.5	4.2							0.0	0.1
全国（公立）	31.9	48.2	15.9	3.9							0.0	0.1

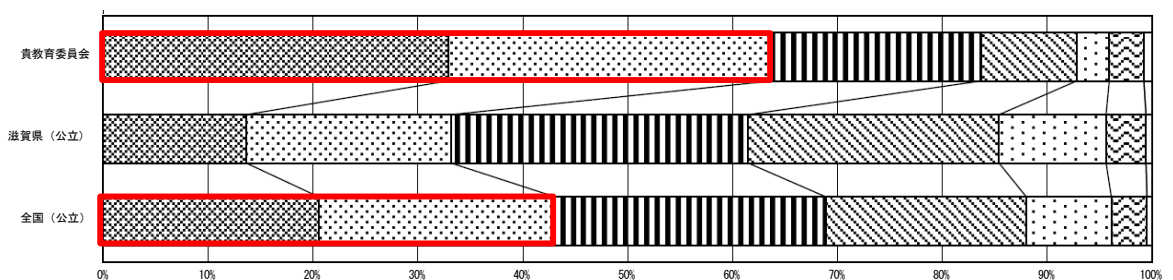
R8 長浜市 77.0% 全国 80.1% -3.1%
R7 長浜市 82.6% 全国 81.3% +1.3%



質問番号	質問事項											
(35)  良好	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	32.9	30.9	20.0	9.1	3.1	3.3					0.0	0.8
滋賀県（公立）	13.6	19.5	28.3	23.9	10.2	3.8					0.0	0.6
全国（公立）	20.5	22.5	25.8	19.1	8.1	3.4					0.0	0.5

R8 長浜市 63.8% 全国 43.0% +20.8%
R7 長浜市 76.0% 全国 46.7% +29.3%

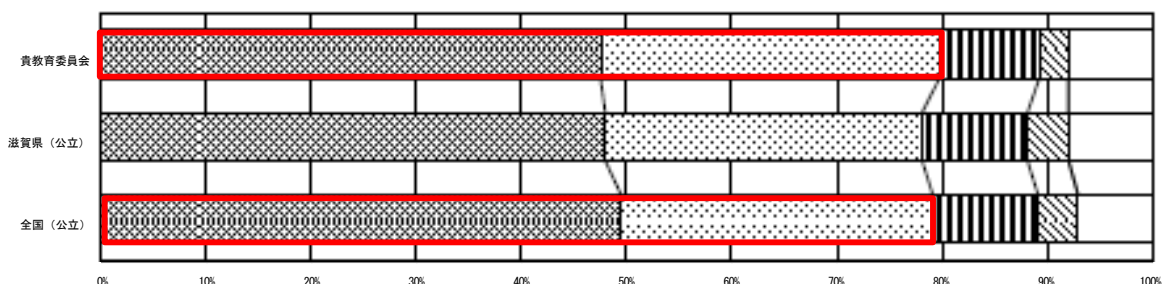
- ☐ 1. ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
 ☐ 2. ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
 ☐ 3. 週3回以上
 ☐ 4. 週1回以上
☐ 5. 月1回以上
 ☐ 6. 月1回未満
 ☐ その他
 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(36-1)  良好	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	47.6	32.2	9.5	2.8							0.0	8.0
滋賀県（公立）	48.0	30.1	10.0	3.9							0.0	8.0
全国（公立）	49.5	29.6	10.0	3.8							0.0	7.1

R8 長浜市 79.8% 全国 79.1% +0.7%
R7 長浜市 84.1% 全国 81.8% +2.3%

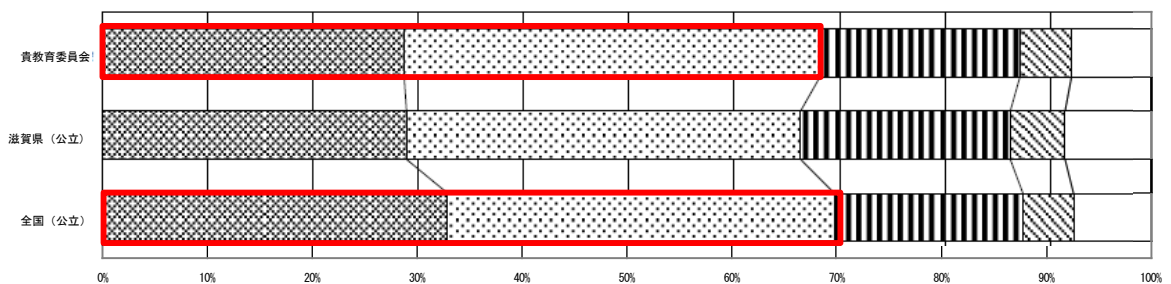
- ☐ 1. そう思う
 ☐ 2. どちらかといえば、そう思う
 ☐ 3. どちらかといえば、そう思わない
 ☐ 4. そう思わない
 ☐ その他
 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(36-3)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	28.7	39.5	19.0	4.9							0.0	8.0
滋賀県(公立)	28.9	37.4	19.9	5.2							0.0	8.6
全国(公立)	32.8	36.7	17.9	4.8							0.0	7.8

R8 長浜市 68.2% 全国 69.5% -1.3%
R7 長浜市 73.7% 全国 69.3% +4.4%

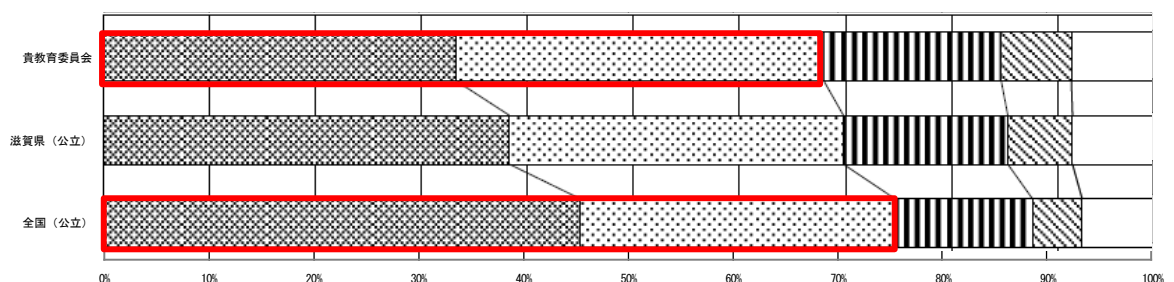
☐ 1. そう思う ☐ 2. どちらかといえば、そう思う ☐ 3. どちらかといえば、そう思わない ☐ 4. そう思わない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(36-4)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	33.3	34.6	16.7	6.6							0.0	8.7
滋賀県(公立)	38.3	31.5	15.5	6.1							0.0	8.6
全国(公立)	44.9	29.7	13.0	4.7							0.0	7.7

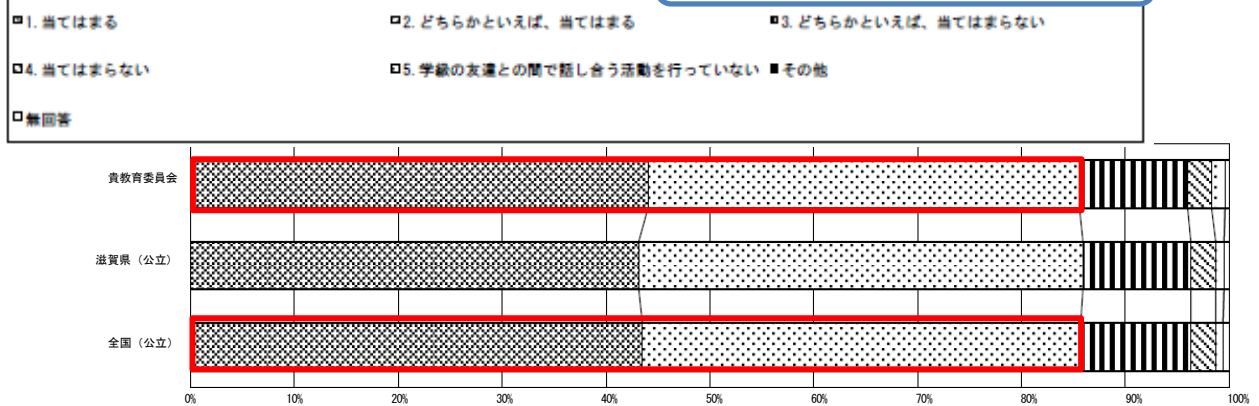
R8 長浜市 67.9% 全国 74.6% -6.7%
R7 長浜市 70.9% 全国 76.7% -5.8%

☐ 1. そう思う ☐ 2. どちらかといえば、そう思う ☐ 3. どちらかといえば、そう思わない ☐ 4. そう思わない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(42)  全国とほぼ同率	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	44.0	41.5	10.4	2.3	1.3						0.0	0.4
滋賀県（公立）	43.2	42.8	10.4	2.4	0.8						0.0	0.5
全国（公立）	43.5	42.2	10.6	2.4	0.7						0.0	0.6

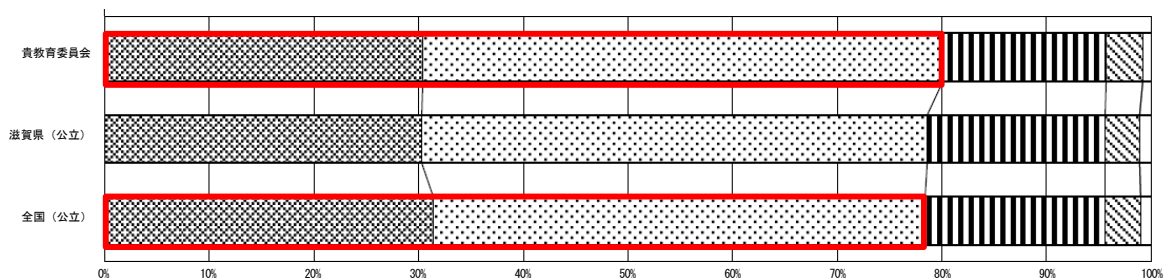
R8 長浜市 85.5% 全国 85.7% -0.2%
R7 長浜市 86.0% 全国 84.9% +1.1%



質問番号	質問事項											
(43)  良好	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	30.4	49.7	15.6	3.5							0.0	0.8
滋賀県（公立）	30.3	48.3	17.0	3.3							0.0	1.1
全国（公立）	31.4	47.0	17.2	3.4							0.0	1.0

R8 長浜市 80.1% 全国 78.4% +1.7%
R7 長浜市 81.6% 全国 79.4% +2.2%

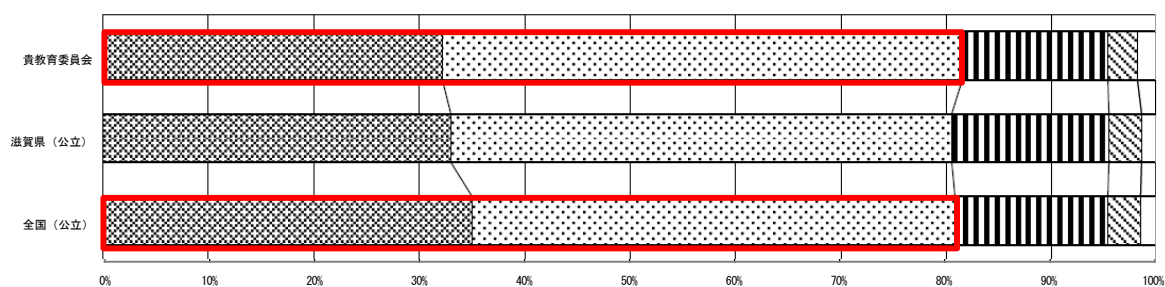
☐ 1. 当てはまる
☐ 2. どちらかといえば、当てはまる
☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない
☐ 4. 当てはまらない
☐ その他
☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(44)  良好	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	32.2	49.3	13.8	2.8							0.0	1.9
滋賀県（公立）	33.0	47.5	14.9	3.1							0.0	1.5
全国（公立）	35.0	45.8	14.5	3.1							0.0	1.6

R8 長浜市 81.5% 全国 80.8% +0.7%
R7 長浜市 81.8% 全国 82.5% -0.7%

☐ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答

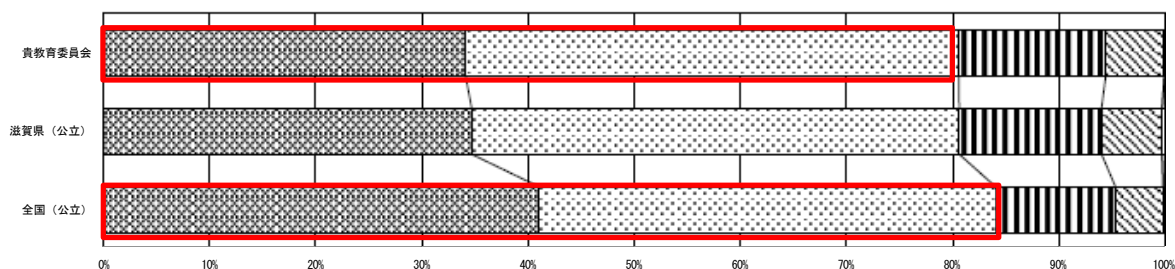


生徒質問紙 中学校 80項目

質問番号	質問事項											
(8)  全国比率と差大	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	34.1	46.4	13.8	5.5							0.0	0.1
滋賀県（公立）	34.7	45.9	13.4	5.7							0.0	0.3
全国（公立）	41.0	43.0	11.3	4.5							0.0	0.2

R8 長浜市 80.5% 全国 84.0% -3.5%
R7 長浜市 86.1% 全国 86.2% -0.1%

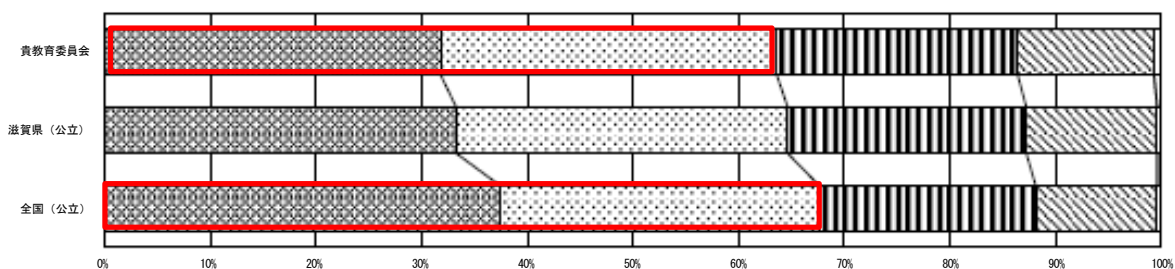
☐ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(10)  全国比率との差大 昨年度より差はやや大	将来の夢や目標を持っていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	31.8	31.8	22.8	12.9							0.0	0.7
滋賀県（公立）	33.3	31.4	22.6	12.4							0.0	0.4
全国（公立）	37.4	30.2	20.5	11.5							0.0	0.4

R8 長浜市 63.6% 全国 67.6% -4.0%
R7 長浜市 64.9% 全国 67.5% -2.6%

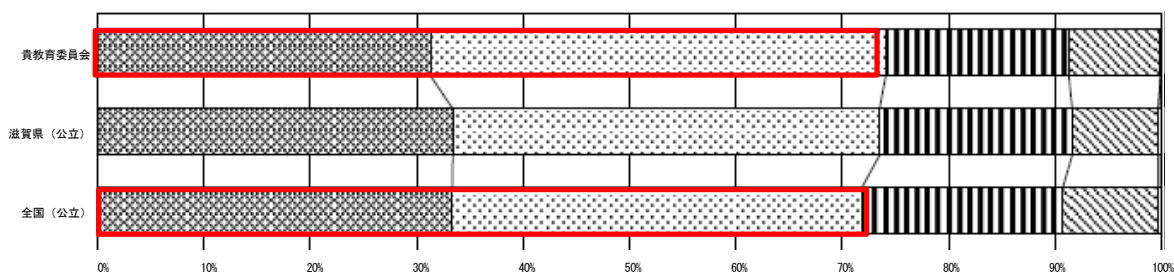
☐ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(13)  良好	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	31.3	42.7	17.2	8.6							0.0	0.1
滋賀県（公立）	33.4	40.1	18.1	8.1							0.0	0.3
全国（公立）	33.4	38.5	18.9	9.0							0.0	0.3

R8 長浜市 74.0% 全国 71.9% +2.1%
R7 長浜市 74.9% 全国 73.2% +1.7%

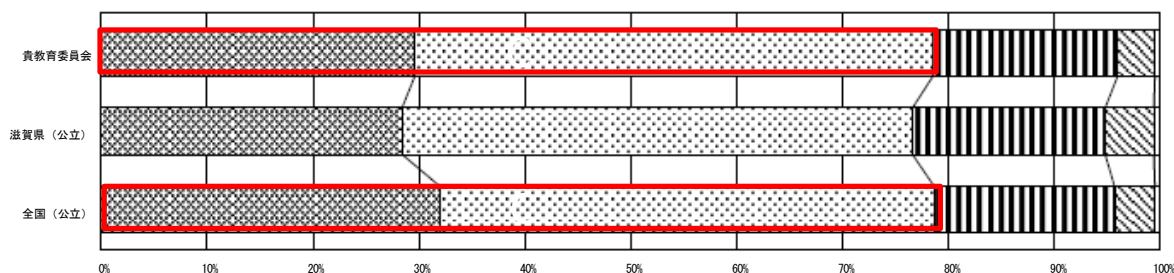
☒ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(16) 	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	29.6	48.9	17.4	3.5							0.0	0.5
滋賀県（公立）	28.4	48.2	18.2	4.6							0.0	0.6
全国（公立）	32.0	46.6	17.0	3.8							0.0	0.5

R8 長浜市 78.5% 全国 78.6% -0.1%
R7 長浜市 78.7% 全国 79.2% -0.5%

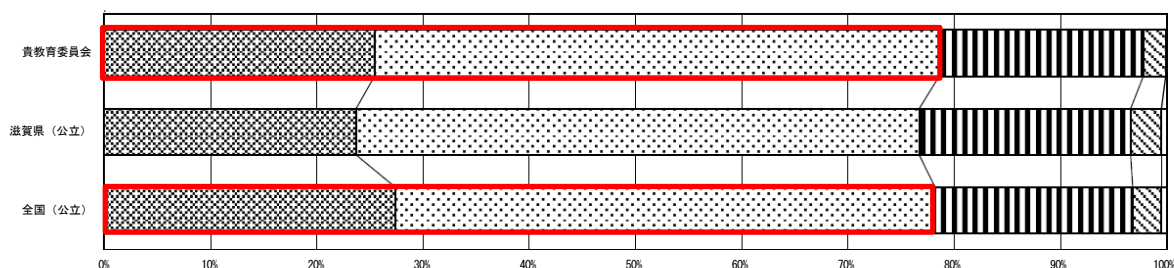
☒ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(22) 	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	25.4	53.1	19.2	2.1							0.0	0.1
滋賀県（公立）	23.7	53.0	19.9	2.9							0.0	0.5
全国（公立）	27.4	50.8	18.6	2.7							0.0	0.5

R8 長浜市 78.5% 全国 78.2% +0.3%
R7 長浜市 78.7% 全国 77.5% +1.2%

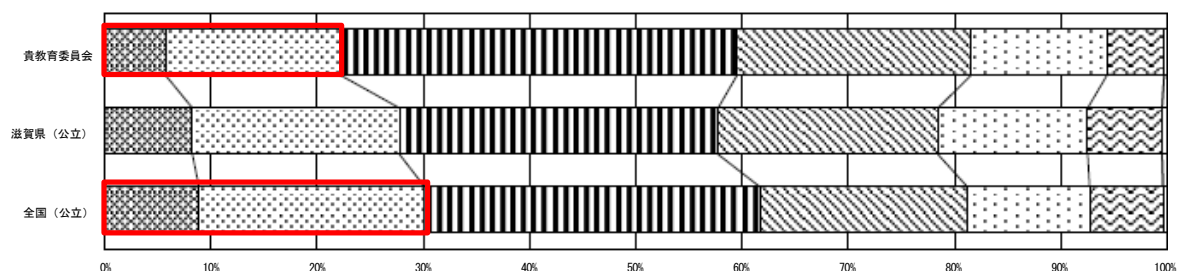
☐ 1. できている ☐ 2. どちらかといえば、できている ☐ 3. どちらかといえば、できていない ☐ 4. できていない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(23)  全国比率との差大	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	5.8	16.5	37.2	22.0	12.8	5.4					0.0	0.3
滋賀県（公立）	8.3	19.5	30.0	20.7	14.1	7.0					0.0	0.5
全国（公立）	8.9	21.2	31.5	19.5	11.5	6.9					0.0	0.4

(2時間以上)
R8 長浜市 22.3% 全国 30.1% -7.8%
R7 長浜市 25.3% 全国 30.8% -5.5%

☐ 1. 3時間以上 ☐ 2. 2時間以上、3時間より少ない ☐ 3. 1時間以上、2時間より少ない ☐ 4. 30分以上、1時間より少ない
☐ 5. 30分より少ない ☐ 6. 全くしない ☐ その他 ☐ 無回答



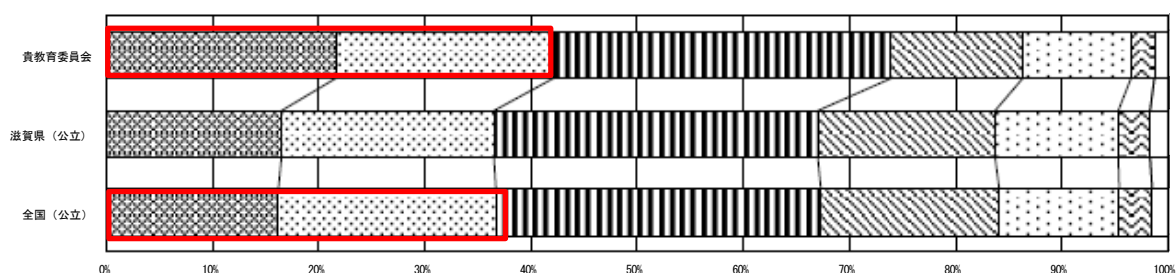
質問番号	質問事項											
(29) 	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	21.6	20.5	31.8	12.4	10.2	2.2					0.0	1.3
滋賀県（公立）	16.5	20.0	30.5	16.7	11.6	3.0					0.0	1.7
全国（公立）	16.2	20.5	30.6	16.8	11.3	3.1					0.0	1.5

(25冊以下)

R8 長浜市 42.1% 全国 36.7% 5.4%

R7 長浜市 47.5% 全国 38.9% 8.6%

☐ 1. 0～10冊 ☐ 2. 11～25冊 ☐ 3. 26～100冊 ☐ 4. 101～200冊 ☐ 5. 201～500冊 ☐ 6. 501冊以上 ☐ その他 ☐ 無回答

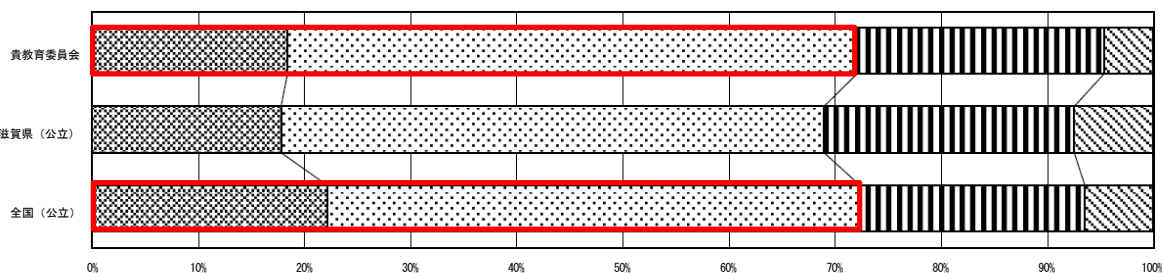


質問番号	質問事項											
(33) 	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	18.4	53.7	23.3	4.6							0.0	0.1
滋賀県（公立）	17.8	51.2	23.6	7.4							0.0	0.1
全国（公立）	22.1	50.2	21.2	6.4							0.0	0.1

R8 長浜市 72.1% 全国 72.3% -0.2%

R7 長浜市 74.5% 全国 75.3% -0.8%

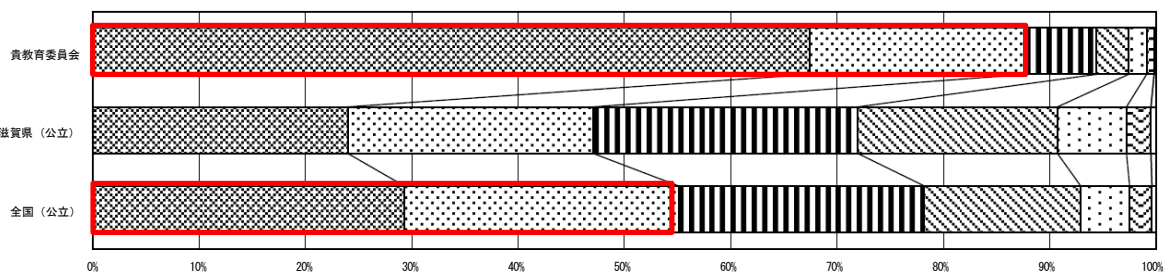
☐ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(35)  良好	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	67.4	20.3	6.7	3.0	1.7	0.7					0.0	0.2
滋賀県（公立）	24.0	23.1	24.9	18.8	6.5	2.3					0.0	0.5
全国（公立）	29.3	25.8	23.1	14.7	4.6	2.1					0.0	0.4

R8 長浜市 87.7% 全国 55.1% +32.6%
R7 長浜市 88.1% 全国 53.2% +34.9%

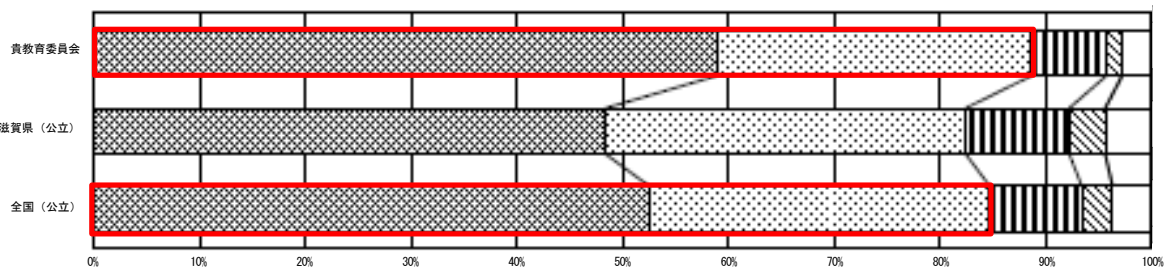
- ☒ 1. ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
 ☐ 2. ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
 ☐ 3. 週3回以上
 ☐ 4. 週1回以上
 ☐ 5. 月1回以上
 ☐ 6. 月1回未満
 ☐ その他
 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(36-1)  昨年度 全国比率より 差大	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	59.0	29.8	7.1	1.5							0.0	2.7
滋賀県（公立）	48.5	34.1	9.8	3.4							0.0	4.3
全国（公立）	52.6	32.2	8.7	2.9							0.0	3.6

R8 長浜市 88.8% 全国 84.8% +4.0%
R7 長浜市 87.1% 全国 83.6% +3.5%

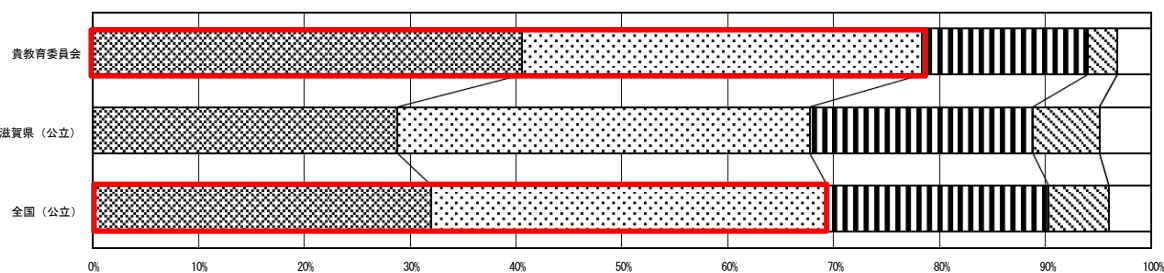
- ☒ 1. そう思う
 ☐ 2. どちらかといえば、そう思う
 ☐ 3. どちらかといえば、そう思わない
 ☐ 4. そう思わない
 ☐ その他
 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(36-3)  良好	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	40.6	37.7	15.7	2.8							0.0	3.2
滋賀県(公立)	28.8	39.0	21.1	6.3							0.0	4.9
全国(公立)	32.0	37.4	20.9	5.7							0.0	4.0

R8 長浜市 78.3% 全国 69.4% +8.9%
R7 長浜市 74.0% 全国 63.3% +10.7%

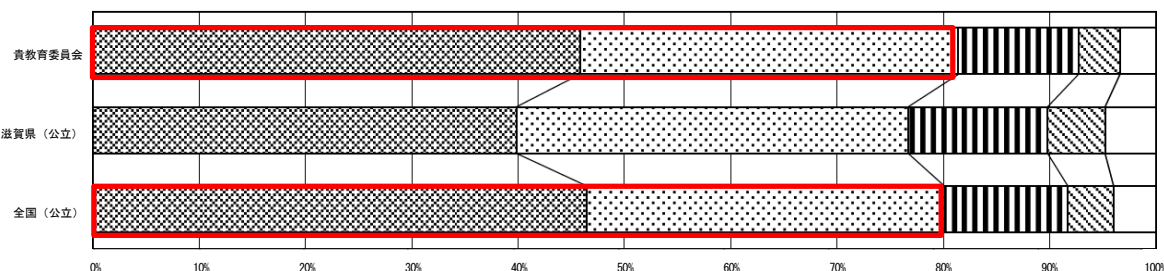
☐ 1. そう思う ☐ 2. どちらかといえば、そう思う ☐ 3. どちらかといえば、そう思わない ☐ 4. そう思わない ☐ その他 ☐ 無回答



質問番号	質問事項											
(36-4) 	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	45.8	35.6	11.3	3.9							0.0	3.4
滋賀県(公立)	39.8	36.8	13.1	5.4							0.0	4.8
全国(公立)	46.4	33.6	11.6	4.3							0.0	4.0

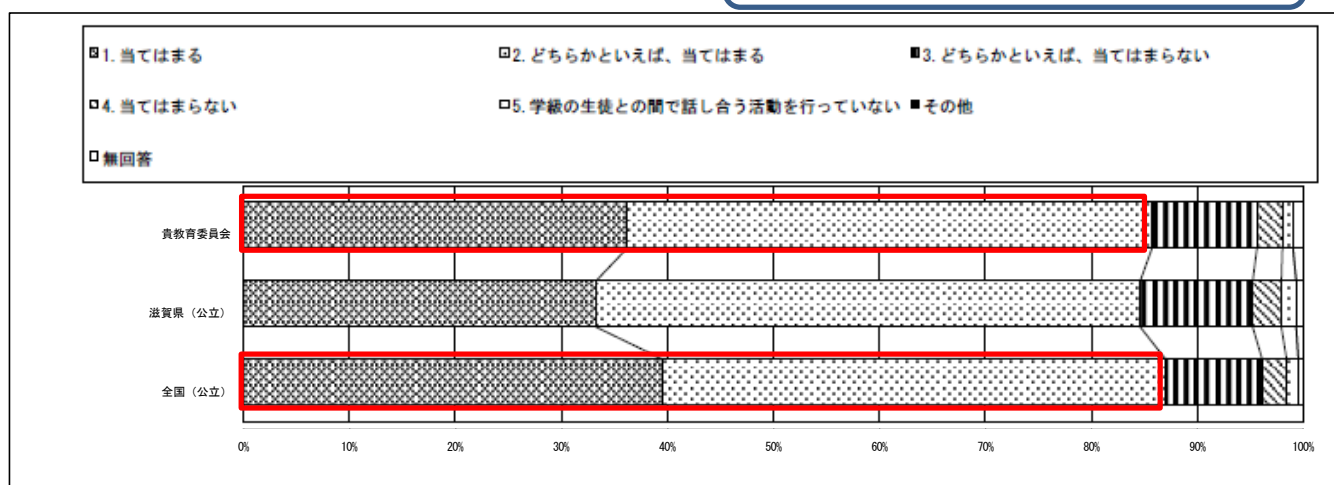
R8 長浜市 81.4% 全国 80.0% +1.4%
R7 長浜市 78.7% 全国 76.6% +2.1%

☐ 1. そう思う ☐ 2. どちらかといえば、そう思う ☐ 3. どちらかといえば、そう思わない ☐ 4. そう思わない ☐ その他 ☐ 無回答



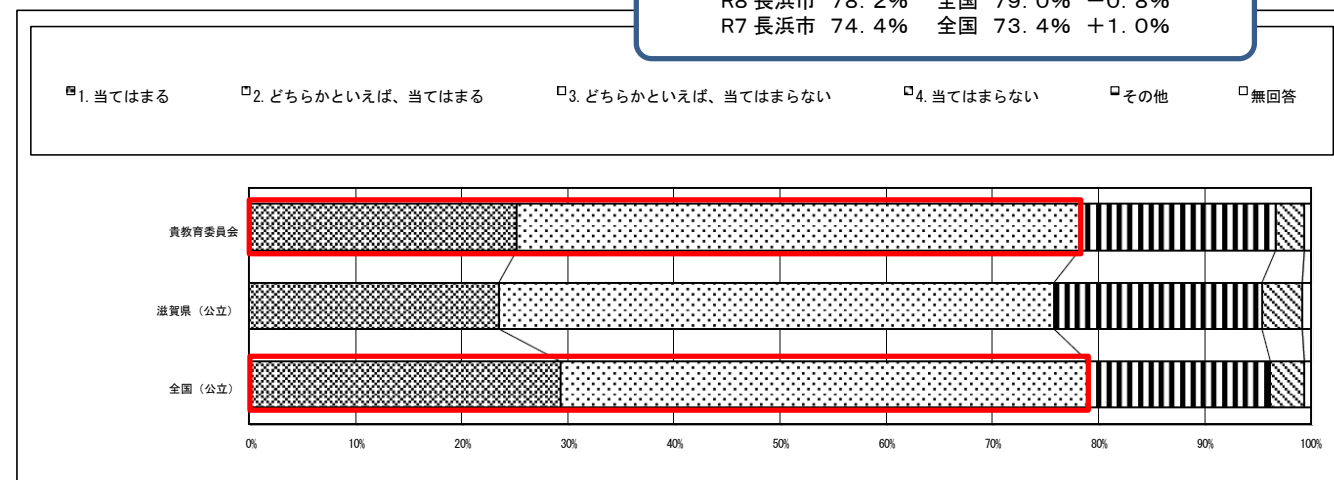
質問番号	質問事項											
(42)  全国比率との差小	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	36.2	49.5	9.9	2.4	1.0						0.0	1.0
滋賀県（公立）	33.3	51.3	10.6	2.7	1.4						0.0	0.7
全国（公立）	39.6	47.4	9.1	2.3	1.1						0.0	0.5

R8 長浜市 85.7% 全国 87.0% -1.3%
R7 長浜市 81.1% 全国 84.7% -3.6%



質問番号	質問事項											
(43) 	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	25.2	53.0	18.5	2.7							0.0	0.6
滋賀県（公立）	23.5	52.3	19.6	3.8							0.0	0.8
全国（公立）	29.3	49.7	17.2	3.2							0.0	0.6

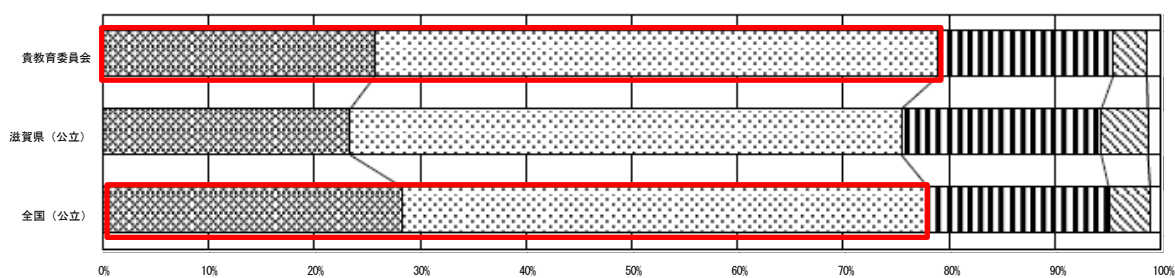
R8 長浜市 78.2% 全国 79.0% -0.8%
R7 長浜市 74.4% 全国 73.4% +1.0%



質問番号	質問事項											
(44)  良好	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	25.7	53.2	16.6	3.2							0.0	1.3
滋賀県（公立）	23.4	52.1	18.9	4.4							0.0	1.2
全国（公立）	28.3	49.7	17.1	3.9							0.0	1.0

R8 長浜市 78.9% 全国 78.0% +0.9%
R7 長浜市 75.0% 全国 74.8% +0.2%

☐ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



令和 8 年度 全国学力・学習状況調査 各教科分析

〈資料〉

- ・ 小学校国語
- ・ 小学校算数
- ・ 中学校国語
- ・ 中学校数学
- ・ 中学校英語

小学校 国語

2 複数の資料を読み、わかったことや考えたことをまとめる。(報告する文章を書く)

◎ 長浜市の児童が特に苦手とする問題

趣旨		学習指導要領の領域
設問一	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる	第5学年及び第6学年 思判表B書くことイ
設問二	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる	第3学年及び第4学年 知識及び技能②情報の扱い方に関する事項ア
設問三	ア)学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる イ)学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる	第5学年及び第6学年 知識及び技能①言葉の特徴や使い方に関する事項工
◎ 設問四	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	第5学年及び第6学年 思判表B書くことエ

設問四		正答率(公立)
評価の観点	思考・判断・表現	四 長浜市 28.4%・滋賀県29.2%・全国33.5%
問題形式	記述式	無回答率(公立)
		四 長浜市 4.4%・滋賀県5.1%・全国5.2%

【問題を通して】

★引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

・本問では、「夏を快適に過ごすための工夫について報告する文章を書く」という言語活動の中で、4つの設問を設定し、それぞれの学習場面で求められる指導事項が定着しているかどうかをみている。
特に、設問四の学習場面では、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書くことが大切である。また、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして書くことも大切である。

・花山さんは、普段の生活の中で疑問に思ったことを基に、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章の組み立てを考えたり、資料の一部を引用したりしながら文章を書いている。ここでは、読み手が書き手の思考をたどりながら読み進められるように文章の展開を工夫することが求められる。また、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが求められる。さらに、考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することや、読み手の読みやすさや意味の通りのやすさを考えて漢字を正しく書くことも求められる。

- ①本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書く
・引用する目的を明確にして、原文に正確に引用することが大切である。設問四では「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを書くために、必要な本の題名と本文の一部の内容を選び、抜き出して書くこととしている。
- ②引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして書く
・問四では引用した部分と、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを区別して書くようとしている。その際、引用した部分はかざ(「」)でくくることが必要である。

【授業改善のポイント】

調査結果から見えてきた課題(特に、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する記述式の正答率の低さ)を克服するためには、日々の授業を以下のように改善していくことがポイントとなる。

◇「伝えたいこと」を明確にして、考えて書くこと、書いた文章の推敲

□伝えたいことを明確にした上で、その内容が伝わるよう文章の構成や展開を考えるとともに、引用などの工夫をすることを指導する。

◇情報を視覚的に「整理・マッピング」する指導の計画化

□文章の構造や要点をつかみやすくするため、重要な語句を囲んだり、矢印や線で結び付けたり、マッピング等を用いて情報を視覚的に整理する手立てを、段階的・計画的に指導する。

◇「書く時間」の確保とICTを活用した「推敲・共有」の推進

□子供一人ひとりがじっくりと自分の考えをまとめ、文章を書く時間を授業内にしっかり確保する。その上で、1人1台端末(ICT)等を用いて友達の文章と瞬時に読み比べをさせ、「書いたものを他者と比較し、よりよく伝わるように書き直す(推敲する)時間」を意図的に設ける。

【学校生活や家庭でできること】

- 読書や調べ学習で、自分の考えを支える言葉や文を抜き出して書く。
- 「考えと理由がつながっているか」、「順序よく書けているか」、「読み手に伝わっているか」を自分で読み返し、直す。

小学校 国語

2 複数の資料を読み、わかったことや考えたことをまとめる。



設問三ア		正答率(公立)
学習指導要領領域	知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方に関する事項工	長浜市 80.7%・滋賀県80.3%・全国80.0%
評価の観点	知識・技能	無回答率(公立)
問題形式	短答式	長浜市 3.5%・滋賀県4.0%・全国4.1%

学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

短
(
い
)

暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。

なぜ、長そでの服を着ているのか。イふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

三
花山さんは、「花山さんの文章の一部」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていたり、部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の部ア、イを漢字でいぬいに書き直そう。

小国-10

小学校 算数

4 日常生活の問題を解決するために、表やグラフを読み取ること（交流会）

◎ 長浜市の児童が特に苦手とする問題

趣旨		学習指導要領の領域
設問(1)	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる	第3学年 D データの活用(1)ア
設問(2)	示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる	第2学年 A 数と計算(2)ア 第3学年 A 数と計算(4)ア 第3学年 C 測定(2)ア
◎ 設問(3)	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる	第4学年 D データの活用(1)ア
設問(4)	帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる	第5学年 D データの活用(1)ア

設問4		正答率（公立）
評価の観点	4(3) 知識・技能	4(3) 長浜市 12.5％・滋賀県14.6％・全国17.9％
問題形式	4(3) 短答式	無回答率（公立）
		4(3) 長浜市 4.3％・滋賀県3.5％・全国3.9％

【問題を通して】

★二次元の表から、条件に合う数を読み取することに課題がある。

・大問4は、[知識及び技能]と[思考・判断・表現]の二つの内容から出題されている。

・日常生活の問題を解決するために、日常の事象(交流会の計画やアンケートの集計)について、表やグラフを読み取り、数量の関係に着目して考察する設問である。大問4では、計画における活動時間や、アンケート結果の表の集計の食い違いなど、学校生活のなかの身近な場面に結び付きやすい問題である。

・4(3)の問題について ・二次元の表から、二つの活動の組み合わせにおける条件に合う人数を正確に読み取る場面である。

- ① 表の縦軸(前半の活動)と横軸(後半の活動)が交わる部分(クロス部分)の意味を理解する。
- ② 「前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する」のように、示された二つの条件に合う部分に着目し、対応する数値(8人)を特定する。

・条件が交わる部分を読み取る際、縦や横の行・列を見間違えて、隣り合う別の数値を答えてしまう誤答が見られた。複数の観点から分類整理された二次元の表の構造を正しく理解し、必要な数値を的確に読み取る力が求められる。

【授業改善のポイント】

◇児童の疑問や気付きを引き出す学習課題の設定

- 授業の導入では、児童が疑問や気付きをもてるよう、学習課題に示された情報と、「前時までの学習」や「日常生活での体験」などを比較し、その違いやずれに着目できるようにする。
- 児童から出された疑問や気付きをもとに、教員が「なぜ疑問に感じたのか」「どのようにすれば解決できそうか」などと問いかけ、考える視点や課題意識を学級全体で共有する。

◇データを分類・整理し、考察する数学的活動の充実

- 資料を分類・整理する場面では、分類の仕方に漏れや重なりがないかを確認するとともに、集計した結果に誤りがないかを見直す時間を設ける。
- 表に整理して表現する活動や、表から分かったことを自分の言葉で説明する活動を繰り返し取り入れます。その中で、「何に目を向けるのか」「どのような視点で考えるのか」を児童自身が意識できるように指導する。
- 数学的活動の場面では、「どの部分を比べると分かるかな？」など、児童の思考を促す具体的な問いかけを行う。また、算数の用語を適切に使いながら、自分の考えを説明するよう働きかける。

◇条件から得られる情報を、表やグラフと結び付けて捉える

- 表やグラフの必要な箇所し、そこから読み取った情報や気付いたことを記入するとともに、どのように捉え、考えていけばよいかを児童同士で伝え合う活動を取り入れる。
- 「表やグラフを見て答えは分かったけれど、式に表すとどうなるかな」「いくつかの考え方があの中で、どの方法ならどんな場合にも活用できるかな」など、児童が自分の考えを広げ、さらに深く考えられるような発問を工夫する。
- 問題解決の過程を振り返り、「何に着目したのか」「どのような考え方で解決したのか」を整理する時間を設け、児童自身が自分の考え方を捉え直せるようにする。

【学校生活や家庭でできること】

- 学校生活(学年行事、児童会活動、クラブ活動など)や家庭生活(買い物、旅行など)の計画を立てる際、全体の時間や予算と、各部分に必要な時間や費用といった「数量の関係」に着目し、条件に合う計画を子ども自身がシミュレーションして表現する機会を設ける。
- 日常生活の中で出会う「なぜ?」「本当に人数が合っているのかな?」「どう計画すればいいかな?」という興味や関心、疑問を学校生活や家庭生活でもさらに調べたり、追究しようとしたりする姿勢を大切に育てたい。

小学校 算数

4 日常生活の問題を解決するために、表やグラフを読み取ること（交流会）

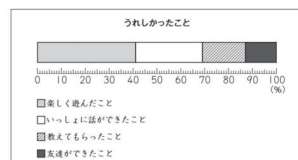
設問(4)	正答率（公立）
学習指導要領領域（第5学年）Dデータの活用(1)ア	長浜市 75.2％・滋賀県73.9％・全国74.9％
評価の観点	知識・技能
問題形式	選択式
	無回答率（公立）
	長浜市 7.6％・滋賀県6.8％・全国6.9％

帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができる。

☆大切なこと→「目的に応じて、統計的に問題を解決すること」

- 目的に応じてデータを集めて、分類整理し、問題を解決するために適切な表やグラフを選んで表報できるようにする。
- 日常生活の問題を解決するために、データを表やグラフに表したり、読み取ったりして、得られた結論について考察できるようにする。

(4) 交流会のあと、さくらさんたちは、「1年生にどんなことがうれしかったか」についてアンケートをとり、下のグラフにまとめました。



「いっしょに話ができたこと」で回答した人の割合は、全体の約何％ですか。最もふさわしいものを下の ア から エ までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 約20％
 イ 約30％
 ウ 約40％
 エ 約70％

中学校 数学

7 日常的な事象における問題について、関数関係に着目し構想を立てて解決すること(動画の時間とデータ量)

◎ 長浜市の生徒が特に苦手とする問題

趣旨		学習指導要領の領域
設問(1)	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる	第1学年 C 関数(1)ア
◎ 設問(2)	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる	第1学年 C 関数(1)イ

設問(2)		
評価の観点	7(2) 思考・判断・表現	正答率(公立)
問題形式	7(2) 記述式	7(2) 長浜市 28.6%・滋賀県32.2%・全国33.9%
		無回答率(公立)
		7(2) 長浜市 45.0%・滋賀県44.4%・全国39.6%

【問題を通して】

★数学的に表現した事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

・大問7は、【知識及び技能】と【思考力・判断力・表現力】の二つの内容のまとまりで、一体的に出題されている。日常生活や社会の事象を考察する場面において、事象を理想化したり単純化したりすることによって、事象の中から取り出した二つの数量の関係を既習の関数とみなし、問題を解決することが求められる場合がある。この問題では、①動画の時間とそのデータ量の関係について調べ、②調べた結果を基にデータ量が1000MBになるときの動画の時間がおおよそ何秒になるかを予測する方法を説明する場面を取り上げた問題である。

表とグラフを関連付けて、数量の変化の傾向を捉える力

・示されたデータを読み、表の数値とグラフ上の点の位置(座標)を相互に関連させながら、数量がどのように変化しているかという傾向を正しく読み取る。

既習の関数(比例)とみなして判断する力

・変化の傾向から「二つの数量の間には比例関係がある(グラフ上の点が原点を通る一直線上にある)」と判断・仮定し、問題を数学的な土台に乗せる。

問題解決の方法を数学的に記述・説明する力

・方法を説明する記述において、まず自分が基準(手がかり)とする「用いるもの」(表、式、グラフのいずれか)を明確にし、主語や目的語を明らかにして筋道立てて記述する。



【授業改善のポイント】



◇情報を適切に読み取る活動の工夫

□調べた表を基に点(座標)を取り、それぞれの点が具体的な事象では何を表しているのかを捉える活動を取り入れる。

□単に「式を使って解く」だけでなく、図や表、グラフ、式のどれに着目したのか(用いるもの)、それをどう操作・解釈したのか(用い方)の両方を言葉や文で数学的に説明し伝える活動を取り入れる。



◇「仮定」を意識し、批判的に吟味する活動の導入

□実際のデータ(散らばりのある点)を直線とみなしてグラフを描く際、「それぞれの点が一直線上にあるとみなすことは、どのような仮定(数量の間の関係)に基づいているのか」を、生徒自身が問い直し、捉える活動を取り入れる。



◇数学的に説明する活動の工夫

□「用いるもの(表、式、グラフ)」を明確にして、その「用い方」を説明するという条件を確認する。
□端末を用いて、モデルとなる説明を共有したり、「グラフをかいて調べる」のような十分でない説明を取り上げて吟味したりする活動を取り入れる。

【学校生活や家庭でできること】

□日常の授業や委員会、日々の会話などのあらゆる場面において、単に結果や答えを出すだけでなく「何に着目し、どう考えたか」という根拠や手順を言葉で筋道立てて説明し、共有し合う習慣を育む。

□睡眠時間や就寝・起床時刻をはじめとする基本的な生活リズムを安定させ、心身ともに落ち着いた状態で、主体的にじっくりと考える学習に向き合える環境と土台を整える。

中学校 数学

9 データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること(睡眠時間)



設問(1)	正答率(公立)
学習指導要領領域	第1学年 D データの活用(1)ア
評価の観点	知識・技能
問題形式	短答式
	長浜市 14.2%・滋賀県14.9%・全国14.3%

データの分布について、ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。

大切なこと→データの分布の傾向を捉える活動を通して、累計度数の意味について理解できるように指導すること。

9 保健委員の桃音さんと悠真さんは、自分たちの学校の生徒の睡眠時間の特徴について、保健だよりで報告することにしました。そこで、全校生徒300人を対象に、ある日の起床時刻と就寝時刻を調査し、睡眠時間を調べました。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1)二人は、全校生徒の睡眠時間の分布の傾向を調べようと考え、次の表にまとめました。

全校生徒の睡眠時間の度数分布表		
階級(時間)	度数(人)	累積度数(人)
以上	未満	
4 ～ 5	1	
5 ～ 6	14	
6 ～ 7	75	ア
7 ～ 8	126	
8 ～ 9	62	
9 ～ 10	20	
10 ～ 11	2	
合計	300	

全校生徒の睡眠時間の度数分布表の には最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数が入ります。 に当てはまる値を求めなさい。

解答 90

中学校 英語

10 短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く

◎ 長浜市の生徒が特に苦手とする問題

趣旨		学習指導要領の領域
設問(1)	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	読むことウ
◎ 設問(2)	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	書くことウ

設問(2)

評価の観点	10(2) 思考・判断・表現	正答率(公立)
問題形式	10(2) 記述式	10(2) 長浜市 22.2%・滋賀県24.0%・全国27.8%
		無回答率(公立)
		10(2) 長浜市 21.4%・滋賀県18.0%・全国14.6%

【問題を通じて】

★短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことに課題がある。

・[思考・判断・表現]の内容から出題されている

・社会的な話題(インターネットの学習利用)について、短い文章を読み、要点を的確に捉えた上で(10(1))、読んだ内容に対する自分の考えとその理由を英語で書いて表現し(10(2))、コミュニケーション上の課題を解決する、[思考・判断・表現]を一体的に問う設問である。大問10では、中学生が学習のためにインターネットをもっと頻繁に使うべきかという、生徒にとって日常生活や社会生活に結び付きやすい状況が設定されている。

・10(2)の問題について

・まいこの質問(Do you think my opinion is good?)に対して、自分の考えと理由を英語で書く場面(記述式)であり、解答に到るまでにいくつかの過程(思考・判断・表現のプロセス)が必要となる。

- ① わかっている情報を整理する。→まいこの意見(インターネットを学習にもっと頻繁に使うべきだ)や、その具体例(英語学習の動画、オンライン辞書など)を読み取って整理する。
- ② 自分の考えを表現するために、ほかに必要な情報を考える。→まいこの意見に対して、賛成(Your opinion is good, など)するか反対(No, I don't, など)するか、自分の立場を決定する。→決定した立場を説得力をもって支えるための「理由」(情報の多さや便利さ、または情報の誤りなどのデメリット)を論理的に考える。
- ③ ②で選んだ立場と理由を使って、条件を満たす英語の文を記述する。



【授業改善のポイント】



◇目的や場面、状況等を設定した言語活動の充実

□「誰に」「何のために」「どのような状況か」等、実際のコミュニケーションの場面を想定し、生徒が目的や場面、状況等に応じて相手意識や目的意識をもつことができる必然性のある言語活動を、どの単元においても設定することが大切である。



◇まとまりのある文章の概要や要点を捉える活動の工夫

- 「～するために、文章を読んで ○○ する」といった、まとまりのある文章を読む目的を設定し、「読んでみたい」という生徒の意欲を高める。
- 段落構成の把握、キーワードや接続詞、語と語の関連等に着目しながら、教科書に書き込んだり、学習者用デジタル教科書の書き込み機能を活用したりして読み進めるようにする。
- 文章を読んだ後、捉えた概要や要点について生徒同士が交流することを通して、自分が読み取った内容を確認する場を設定する。



◇自分の考えを深めたり、記述したり表現したりする言語活動の充実

- 基礎的な表現の定着を図るために、学習者用デジタル教科書を活用し、教科書の英文のリスニング活動や音読活動を繰り返し行う。
- 簡単な語句や文を用いて自分の考えや気持ちを表現する言語活動を、継続的かつ段階的に行う。
- テーマや話題について、マッピング等を用いて思考や情報を整理し、相手に伝わるよう構成等を考えて表現する活動を行う。
- 書いた文章を、1人1端末末を活用するなどして共有し、生徒が多くの文章を読んで比較することができるようにした後、必要に応じて自分の書いた文章を書き直す時間を設け、よりよく読み手に伝わる表現を工夫する。

【学校生活や家庭でできること】

- 日常生活の中で出会う「なぜ?」「なに?」「どうなるの?」という興味や関心、疑問を、学校生活や家庭生活でもさらに主体的に調べたり、自分なりの考えを構築しようとしたりする主体的な姿勢を大切に育てたい。
- 自分の意見とは異なる多様な考え方に触れ、お互いにそれを尊重し合いながら対話し、視野を広げる環境を学校や家庭でも意図的に作る。こうした多角的な対話の日常的な積み重ねが、論理的で説得力のある理由を組み立てる英語の発信力の基盤となる。

中学校 英語

2 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。



設問	正答率(公立)
学習指導要領領域	聞くことイ
評価の観点	思考・判断・表現
問題形式	選択式

日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることではできている。

日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために、ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する問題である。
話題について聞く目的を明確にし、目的や状況に応じて必要な情報を選びながら聞き取る力が求められる。

2 目的に応じて、必要な情報を聞き取る

あなたは、カバンを買うために、ショッピングセンターに来ています。英語の案内放送を聞いて、あなたが行くべき階として最も適切なものを、解答欄の1から4までの中から1つ選びなさい。

Welcome to our shopping center. This is the floor guide. On the first floor, we have some restaurants. Also, we have a supermarket. On the second floor, we have shops for computers, phones, and video games. On the third floor, we have a bookstore. On the same floor, we have many shops for bags, clothes, and shoes. On the fourth floor, you will find a movie theater. We hope you'll enjoy shopping today.

ショッピングセンター



- 1 1st floor
- 2 2nd floor
- 3 3rd floor
- 4 4th floor

2

花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いていきます。次の「花山さんの文章の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、暑さをさげる衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。



小図-7

小学校第6学年

国語

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから19ページまであります。問題用紙のあいている場所は、下書きなどに使用してもかまいません。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書いてください。
- 4 解答は、HB以上のこさの黒えんぴつ（シャープペンシルも可、ボールペンは不可）を使い、こくはつきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 5 解答時間は、45分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 問題用紙の最後に、この調査問題について質問があります。解答時間終了後、先生の指示で回答してください。

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

（参考文けん）

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやする色のため、熱くなりやすい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

小図-11

四 花山さんは、「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを「花山さんの文章の続き」に書いています。あなたが花山さんなら、に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。

なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

三 花山さんは、「花山さんの文章の一部」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていたり、部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の部ア、イを漢字でいねいに書きましょう。

小図-10

（条件）
○「集めた情報」の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
○ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかきかっこと「」でくくること。
○ぬき出した内容をもとに、すすしく過こせる衣服の色について考えたことを書くこと。
○百四十文字以内にまとめて書くこと。

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から横書きで書きましょう。どちらうで行を変えないで、
続けて書きましょう。

小国-12

令和8年度

小学校第6学年 算 数

注 意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから21ページまであります。
問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、
全て解答用紙に書いてください。
- 4 解答は、HB以上のこさの黒えんぴつ（シャープペン
シルも可、ボールペンは不可）を使い、こく、はっきりと
書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに
消してください。
- 5 解答時間は、45分間です。解答が早く終わったら、
よく見直しましょう。
- 6 問題用紙の最後に、この調査問題について質問があり
ます。解答時間終了後、先生の指示で回答してください。

4

6年生のさくらさんたちは、1年生と仲良くなるために交流会を計画して
います。交流会では6年生と1年生がいっしょに、ボール遊び、おにごっこ、
昔遊びをします。

(1) 1年生の各学級の人数は、下の表1のとおりです。

表1 1年生の各学級の人数 (人)

学級	1組	2組	3組	合計
人数	29	30	28	87

さくらさんたちは、1年生にアンケートをとり、どの遊びに参加するか
を1つ選んでもらいました。



アンケートは1年生全員から集め、無回答はありませんでした。

下の表2は、集めたアンケートを整理したものです。

表2 1年生が選んだ遊び (人)

遊び	学級	1組	2組	3組	合計
遊び	ボール遊び	9	14	8	31
	おにごっこ	8	7	10	25
	昔遊び	12	6	10	28
	合計	29	27	28	84

小算-17

(3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する1年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)				
		後半		合計
		あやとり	かるた	
	前半	4	9	13
		8	7	15
	合計	12	16	28

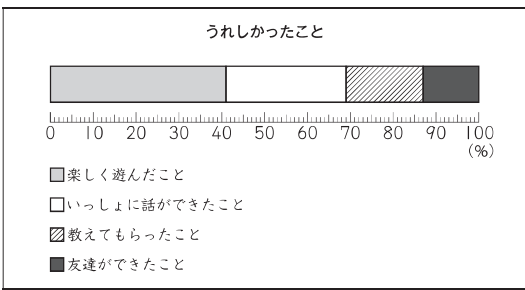
さくらさんたちは、あやとりに参加する1年生にひもをわたします。
わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は 7 人です。
前半はかるたに、後半はあやとりに参加する人数は 9 人です。

上の7、9に入る数を、それぞれ書きましょう。

小算-20

(4) 交流会のあと、さくらさんたちは、1年生にどんなことがうれしかったかについてアンケートをとり、下のグラフにまとめました。



「いっしょに話ができたこと」と回答した人の割合は、全体の約何%ですか。最もふさわしいものを下の ア から エ までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 約20%
イ 約30%
ウ 約40%
エ 約70%

小算-21

① 二人の会話

西先生 「ら抜き言葉」とは何ですか。「投げる」と言ったときに、「それはら抜き言葉だね」と言われました。

竹内さん 「ら抜き言葉」とは「できる」という可能の意味を含む「出られる」を、「出れる」のようにする言い方のことです。「投げる」も「投げられる」の「ら抜き言葉」に当たります。

二 竹内さんは、「二人の会話」の……線部①「可能の意味」について考えています。次の1から4までのうち、文中の……線部が「可能の意味」を含んでいるものを一つ選びなさい。

1 運動会当日の大会が楽し^①られる。

2 突然、友人から声を掛けられる。

3 満腹になったが、ケーキは食べられる。

4 来賓の方々が、卒業式の会場に入られる。

二 竹内さんは、「二人の会話」の……線部②「投げられる」について考えています。次の1から4までのうち、「投げられる」を説明したものとして最も適切なものを一つ選びなさい。

1 「投げられる」という動詞である。

2 「投げる」という動詞と「られる」という動詞でできている。

3 「投げる」という動詞と「られる」という助動詞でできている。

4 「投げる」という動詞と「られる」という助動詞でできている。

中国-1

令和8年度

中学校第3学年 国語

注意

1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。

2 調査問題は、1ページから20ページまであります。問題用紙の空いている場所は、下書きなどに使用してもかまいません。

3 解答用紙は、両面に解答欄があります。解答は、全て解答用紙に記入してください。

4 解答は、HB以上の濃さの鉛筆(シャープペンシルも可)で記入してください。濃くはつきりと書いてください。黒く塗りつぶしてください。

5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。

6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。

7 解答時間は、50分間です。

8 問題用紙の最後に、この調査問題について質問があります。解答時間終了後、先生の指示で回答してください。

4 林さんは、擬音語（擬声語）・擬態語に興味をもち、次の文章を読んでいます。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

7 は、段落の番号を表します。

1 から

〔中田智子〕「会話の表情を表わす擬音語・擬態語」による。

（中田智子「会話の表情を表わす擬音語・擬態語」による。）

(注) 物腰＝人に接するときの態度。

（中田智子「会話の表情を表わす擬音語・擬態語」による。）

中国-15

中国-16

四 林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、**「具体的な場面」**を思い浮かべながら、**「種類の例文**を書いてみました。あななほ、**「例文①」**と**「例文②」**を比べて、**「振返語」**はどのような効果があるかと考えますか。あとの**「条件①」**と**「条件②」**にしながつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈具体的な場面〉

〔例文1〕（擬態語を使っていない例文）

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」

〔例文2〕（擬態語を使った例文）

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」



条件1
〔例文2〕の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。

条件2 条件1で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

中国-19

中国-20

中学校第3学年
数 学

注 意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1 ページから 20 ページまであります。
問題用紙の空いている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答用紙は、両面に解答欄があります。解答は、全て解答用紙に記入してください。
- 4 解答は、HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可、ボールペンは不可)を使い、濃く、はっきりと書いてください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答時間は、50 分間です。
- 8 問題用紙の最後に、この調査問題について質問があります。解答時間終了後、先生の指示で回答してください。

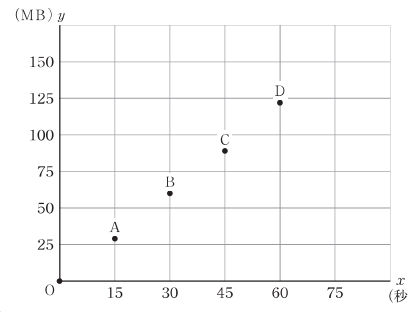
- 7 光希さんのクラスでは、クラス紹介の動画を撮影することになりました。撮影する動画のデータ量は1000 MBまでにすることになっています。

そこで、動画の時間によってデータ量がどのように変わるかを調べるために、同じ撮り方で時間だけを変えて動画を撮影し、動画の時間とそのデータ量を記録しました。そして、動画の時間が x 秒のときのデータ量を y MBとして、次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。



調べた結果

x (秒)	0	15	30	45	60
y (MB)	0	29	60	89	122



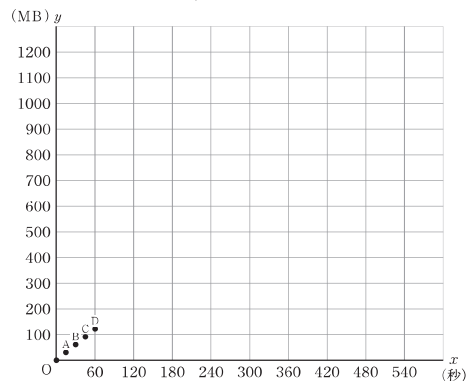
次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 調べた結果の表をみて、グラフの点Cの座標を書きなさい。

中数-11

- (2) 光希さんは、1000 MBのデータ量で撮影できる動画の時間を調べるために、前ページの調べた結果を下のグラフに表しました。

動画の時間とデータ量のグラフ



動画の時間とデータ量のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、動画の時間を長くしても、動画の時間とデータ量の値の組を座標とする点が同じ直線上にあると考えます。
このとき、データ量が1000 MBになるときの動画の時間はおおよそ何秒になるかを求める方法を、 x 座標や y 座標、 x の値や y の値など、 x や y を使って説明しなさい。ただし、実際に時間がおおよそ何秒になるかを求める必要はありません。

- 9 保健委員の桃音さんと悠真さんは、自分たちの学校の生徒の睡眠時間の特徴について、保健だよりで報告することになりました。そこで、全校生徒300人を対象に、ある日の起床時刻と就寝時刻を調査し、睡眠時間を調べました。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 二人は、全校生徒の睡眠時間の分布の傾向を調べようと考え、次の表にまとめました。

全校生徒の睡眠時間の度数分布表

階級(時間)	度数(人)	累積度数(人)
以上	未満	
4 ～ 5	1	
5 ～ 6	14	
6 ～ 7	75	ア
7 ～ 8	126	
8 ～ 9	62	
9 ～ 10	20	
10 ～ 11	2	
合計	300	

全校生徒の睡眠時間の度数分布表の には最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数が入ります。 に当てはまる値を求めなさい。

英語

R8 中学校・英語 「聞くこと」スクリプト

※問題の左肩の①～⑤に対応しています。

① 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して聞く

レストランでの店員と客の会話を聞いて、客が注文したものを、解答欄の1から4までの中から1つ選びなさい。

店員: Would you like some cake? We have cheesecake and chocolate cake today.

客: Well, I love cheesecake, but I cannot eat any more food. Can I have a cup of coffee?

店員: Of course. Any sugar and milk?

客: Yes, please.

② 目的に応じて、必要な情報を聞き取る

あなたは、カバンを買うために、ショッピングセンターに来ています。英語の案内放送を聞いて、あなたが行くべき階として最も適切なものを、解答欄の1から4までの中から1つ選びなさい。

Welcome to our shopping center. This is the floor guide. On the first floor, we have some restaurants. Also, we have a supermarket. On the second floor, we have shops for computers, phones, and video games. On the third floor, we have a bookstore. On the same floor, we have many shops for bags, clothes, and shoes. On the fourth floor, you will find a movie theater. We hope you'll enjoy shopping today.

③ 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る

あなたは、留学先で学校見学に参加し、体育館で先生の説明を聞くところです。あなたのカードの番号は30です。先生の指示を聞いたあと、質問が流れます。そのあと、4つの選択肢が示されます。質問の答えとして最も適切なものを、解答欄の1から4までの中から1つ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。

Thank you for joining our school tour. Please look at the number on your card. I will tell you the place to go and the thing to do. Number 1 to number 10, please stay in the gym. You will watch a movie about school life. Number 11 to number 20, please go to classroom A. You will experience a math class. Number 21 to number 30, please go to the music room. You will listen to the school song. Number 31 to number 40, please go to the library. You will talk with our students. Enjoy your tour!

Question: Where will you go on the school tour?

1

10

中学生のまいこ(Maiko)が英語の授業でインターネットの使用に関する文章を書きました。次の(1)と(2)の問いに答えなさい。

(2) まいこの質問に対する「**あなたの考え**」と「**なぜそう考えるのか**」を、英語で書きなさい。【まいこが書いた文章】にある表現を使って書いてもかまいません。

【まいこが書いた文章】

Today, many junior high school students use the internet to play games. However, I think we should use the internet for learning more often because it is useful. For example, there are many good videos for learning English. They are easy to understand. Also, there are many good dictionaries on the internet. We can find the meaning of an English word quickly.

Do you think my opinion is good?

<解答欄> ※半角で入力してください
Do you think my opinion is good?

あなたの考え

なぜそう考えるのか